

# 令和2年度 事業結果報告

## 1 警備業務運営の適正化

### (1) 適正な業務運営のための法令遵守と助言・指導の充実強化

「警備業における適正取引推進等に向けた自主行動計画」改訂版の普及強化を図るとともに、協会情報紙「熱風」を発行して意識啓発した。

### (2) 警備業経営者等のための倫理要綱、「警備員規範」及び「警備員心得」の理解と実践及び研修会の充実

各種講習や研修会等あらゆる場で説明したほか、協会機関紙「SECURITY KAGOSIMA」に掲載して周知徹底を図った。

### (3) 適正な労働環境の改善と労働災害の防止活動の強化

新型コロナウイルス感染予防のための諸対策を推進したほか、労災事故防止に関する標語・ポスター等を募集した。

### (4) 暴力団等反社会的勢力排除対策協議会の充実強化

暴力団等反社会的勢力排除対策協議会の総会を開催し、県警公安課及び組織犯罪対策課の課長補佐による講話を聴講後、暴力追放運動推進センターによるビデオ教養を受講した。

## 2 警備員の資質向上のための教育事業の充実強化

### (1) 警備員指導教育責任者等講習

県公安委員会からの委託を受け、県住宅供給公社ビルにおいて実施した。

講習種別		実施期間	受講者数
2号	新規取得講習	10月 5日～10月 9日	15名
	追加取得講習	10月 8日～10月 9日	5名
機械	取得講習	10月 20日～10月 22日	4名
1号	新規取得講習	11月 16日～11月 21日	15名
	追加取得講習	11月 19日～11月 21日	5名
3号	新規取得講習	12月 7日～12月 11日	5名
	追加取得講習	12月 10日～12月 11日	1名
4号	新規取得講習	1月 11日～1月 15日	1名
	追加取得講習	1月 14日～1月 15日	9名

## (2) 警備員事前講習・特別講習

県青少年研修センターにおいて、警備種別ごとに事前講習及び特別講習をそれぞれ実施した。

講習種別	実施期間	受講者数	実施期間	受講者数
雑踏 警備業務 2 級	7 月 4 日～ 5 日	新規 29 名 再試 2 名	7 月 23 日 ～ 24 日	新規 29 名 再試 2 名
交通誘導 警備業務 2 級	8 月 29 日～30 日	新規 40 名 再試 9 名	9 月 12 日 ～ 13 日	新規 49 名 再試 9 名
交通誘導 警備業務 2 級	10 月 3 日～ 4 日	新規 44 名 再試 0 名	10 月 24 日 ～ 25 日	新規 43 名 再試 0 名
貴重品運搬 警備業務 2 級	11 月 7 日～ 8 日	新規 30 名 再試 3 名	11 月 14 日 ～ 15 日	新規 32 名 再試 3 名
施設 警備業務 2 級	2 月 6 日～ 7 日	新規 39 名 再試 5 名	2 月 13 日 ～ 14 日	新規 37 名 再試 5 名

## (3) 警備員指導教育責任者現任講習の実施

新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

## (5) 講師研修会の充実

警備員指導教育責任者講習及び警備員特別講習の講師を対象とした研修会を開催して指導要領等を研究したが、現任講師研修会、全国教育幹部研修会(新任講師講習)、九州地区特別講習講師合同研修会、全警協主任講師研修会は、いずれも新型コロナウイルスの感染拡大により未開催又は不参加となった。

## 3 警備料金の適正化による経営基盤の強化

### (1) 国及び地方公共団体等関係機関・団体に対する働きかけ

県主催の交通誘導員対策意見交換会に出席し、警備員不足による適正な警備料金、警備員の処遇改善、業務の平準化等について要望した。

### (2) 交通部会など各種研修会の開催と警備料金標準見積書の活用

交通部会、交通誘導労務単価等研究会及び警備契約調査委員会の合同研修会を開催し、適正料金の確保、警備員不足対応、働き方改革関連法を協

議したほか、県警生活安全企画課の課長補佐による「警備業における警備業務提供委託について」の講話を聴講した。

(3) 交通誘導員対策意見交換会への出席

県主催の意見交換会に出席し、交通誘導警備員の円滑確保を要請した。

#### 4 社会保険の加入促進

社会保険の加入状況について調査し、今後の加入促進対策等を検討した。

#### 5 各委員会等の活動の推進

(1) 理事会、定時総会の開催

4回の理事会を開催するとともに、マリンパレスかごしまにおいて定時総会を開催し、令和元年度の事業結果及び決算、令和2年度の事業計画案及び収支予算案を可決したほか、役員改選が行われた。

(2) その他委員会等の開催

青年部会、災害対策委員会等のほか、交通部会と交通誘導労務単価等研究会及び警備契約調査委員会の合同研修会を開催した。

#### 6 功労者等に対する表彰の充実

10年以上の永年勤続、標語・ポスター・論文の優秀及び事件検挙功労等による優良警備員54名に対し協会長から賞状を授与した。

#### 7 情報公開、広報・啓発活動の強化

(1) インターネット等による情報公開、広報等

協会ホームページに協会の目的・事業内容、組織、会員等のほか、各種講習や入会、斡旋商品等について掲示案内するとともに、警備員募集用パンフレットを作成して高校、ハローワーク等に配布した。

また、会員向けに機関誌「SECURITY KAGOSIMA」及びミニ広報紙「熱風」を発行した。

(2) 「警備の日」を中心とした広報活動

11月1日の「警備の日」に会員がポスター、のぼり旗等を掲示したほか、「働く警備員」フォトコンクール作品を掲示した写真展を開催した。

## 8 公益活動の推進

### (1) 地域社会及び公益団体への協力・支援活動

県警との「安全・安心まちづくりの支援に関する協定」等に基づく「子供の見守り活動」をはじめ、青年部会が県防犯協会に「うそ電話詐欺撃退装置」を寄贈実施したほか、「ドライブレコーダ記録データ等の情報提供に関する協定」に基づきデータの保全要請を受理した。

また、安心安全まちづくり市民大会や年末年始防犯キャンペーン等に参加した。

### (2) 大規模災害等発生時対策の推進

県知事との「家畜伝染病の発生時における交通誘導警備業務に関する協定」に基づき、さつま町で発生した高病原性鳥インフルエンザの交通誘導警備業務に会員会社が従事したほか、同インフルエンザまん延防止対策に対する支援金を募集し、消毒用石灰を贈呈した。

県警に対しては、「災害時における交通誘導業務等に関する協定」に基づき参加会員企業及び出動警備員数を調査報告した。